

SHINKIN BANK

BANK

BANK

SHINKIN BAN

DATE

だてしん

半期ディスクロージャー誌

平成27年4月1日～9月30日

KIN BANK

SHINKIN BA

SHINKIN

IN BANK

SHI

DATE

伊達信用金庫

# だてしん半期ディスクロージャー

当金庫の平成27年9月期(平成27年4月1日～9月30日)における半期情報についてお知らせいたします。

なお、以下に掲げる開示項目は、当金庫任意の情報として開示しております。また、各計数については会計監査人による監査を受けておりません。

## 預金者別預金残高

(単位:百万円)

	平成27年3月末	平成27年9月末	増減額
個人預金	126,975	126,268	△ 707
法人預金	19,240	20,571	1,331
金融機関預金	128	141	13
公金預金	10,626	15,006	4,380
合計	156,971	161,988	5,017

## 貸出金業種別残高

(単位:百万円)

	平成27年3月末	平成27年9月末	増減額
製造業	1,110	1,059	△ 51
農業、林業	49	55	6
漁業	5	12	7
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—
建設業	4,212	4,354	142
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—
情報通信業	22	20	△ 2
運輸業、郵便業	1,734	1,650	△ 84
卸売業、小売業	2,494	2,266	△ 228
金融業、保険業	1,442	1,150	△ 292
不動産業	8,054	8,160	106
物品賃貸業	208	233	25
学術研究、専門・技術サービス業	37	41	4
宿泊業	1,485	1,455	△ 30
飲食業	536	551	15
生活関連サービス業、娯楽業	1,020	1,013	△ 7
教育、学習支援業	11	10	△ 1
医療、福祉	1,533	1,586	53
その他のサービス	1,331	1,391	60
小計	25,292	25,013	△ 279
地方公共団体	17,953	17,138	△ 815
個人	13,828	13,808	△ 20
合計	57,075	55,961	△ 1,114

## 損益の状況

(単位:百万円)

	平成27年3月期	平成27年9月期
業務純益	588	302
経常利益	777	279
当期純利益	775	275

## 金融再生法開示債権および同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

区分	開示残高 (A)	保全額 (B)	担保・保証等による回収見込額 (C)	貸倒引当金 (D)	保全率(%) (B)/(A)	引当率(%) (D)/((A)-(C))	
金融再生法上の不良債権	平成27年3月期	5,750	5,347	2,817	2,530	93.00	86.28
	平成27年9月期	5,770	5,451	2,853	2,598	94.47	89.06
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成27年3月期	937	937	473	464	100.00	100.00
	平成27年9月期	910	910	460	450	100.00	100.00
危険債権	平成27年3月期	4,465	4,088	2,091	1,997	91.56	84.13
	平成27年9月期	4,451	4,154	2,080	2,073	93.33	87.47
要管理債権	平成27年3月期	347	321	252	69	92.63	73.01
	平成27年9月期	407	385	311	74	94.60	77.07
正常債権	平成27年3月期	51,768					
	平成27年9月期	50,588					
合計	平成27年3月期	57,518					
	平成27年9月期	56,359					

(注) 金融再生法に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」は総与信額で開示しておりますが、「要管理債権」は貸出金のみで開示しております。なお、総与信額は貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、未収利息、仮払金の合計額です。

## 金利リスクに関する事項

(単位:百万円)

運用勘定		
区分	金利リスク量	
	平成27年3月末	平成27年9月末
貸出金	286	269
有価証券	550	556
預け金	4	9
コールローン等	—	—
その他	—	—
運用勘定合計	840	836

(単位:百万円)

調達勘定		
区分	金利リスク量	
	平成27年3月末	平成27年9月末
定期性預金	△ 22	△ 22
要求払預金	△ 16	△ 17
その他	—	—
調達勘定合計	△ 39	△ 40

(単位:百万円)

銀行勘定の金利リスク	801	796
------------	-----	-----

- (注) 1. 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当金庫では、金利ショックを99%タイル又は1%タイル値として銀行勘定の金利リスク量を算出しております。
2. 要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、普通預金等の額の50%相当額を2.5年としてリスク量を算出しております。
3. 銀行勘定の金利リスクは、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算出しております。

銀行勘定の金利リスク(796百万円) = 運用勘定の金利リスク量(836百万円) + 調達勘定の金利リスク量(△40百万円)

## 自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	平成27年3月期		平成27年9月期	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
<b>コア資本に係る基礎項目(1)</b>				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	5,433		5,708	
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,161		3,160	
うち、利益剰余金の額	2,349		2,548	
うち、外部流出予定額(△)	75		—	
うち、上記以外に該当するものの額	△ 2		△ 1	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	215		231	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	215		231	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	5,648		5,940	
<b>コア資本に係る調整項目(2)</b>				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	6	—	6	—
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	6	—	6	—
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—	—	—
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	—	—
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—	—	—
特定項目に係る10パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	6		6	
<b>自己資本</b>				
自己資本の額((イ)-(ロ))/(ハ)	5,642		5,934	
<b>リスク・アセット等(3)</b>				
信用リスク・アセットの額の合計額	35,514		36,944	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 811		△ 842	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	—		—	
うち、繰延税金資産	—		—	
うち、前払年金費用	—		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 811		△ 842	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	3,831		3,831	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	39,346		40,776	
<b>自己資本比率</b>				
自己資本比率((ハ)/(ニ))	14.34%		14.55%	

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。  
なお、当金庫は国内基準を採用しております。

## 所要自己資本の額

(単位:百万円)

区分	平成27年3月期		平成27年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
信用リスク(イ)	35,514	1,420	36,944	1,477
オペレーショナル・リスク(ロ)	3,831	153	3,831	153
総所要自己資本額((イ)+(ロ))	39,346	1,573	40,776	1,631

(注)所要自己資本額=リスク・アセット×4%

## 有価証券の時価情報

### (1)満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	平成27年3月末			平成27年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	7,999	8,008	8	7,999	8,019	19
	地方債	38,627	40,227	1,600	40,714	42,242	1,527
	社債	298	312	14	298	310	11
	その他	3,903	4,225	322	3,911	4,220	308
	小計	50,828	52,774	1,946	52,924	54,792	1,868
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	499	496	△ 2	998	995	△ 3
	社債	—	—	—	—	—	—
	その他	700	681	△ 18	700	688	△ 11
	小計	1,199	1,177	△ 21	1,698	1,684	△ 14
合計	52,027	53,952	1,925	54,622	56,477	1,854	

(注) 1. 時価は、上半期末前一週間(5営業日)の市場価格等の平均に基づいて算定された額により計上したものです。 2. 上記の「その他」は、外国証券等です。  
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

### (2)その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	平成27年3月末			平成27年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	1,011	967	44	1,037	994	43
	国債	27	27	0	13	13	0
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	983	939	43	1,023	981	42
	その他	1,632	1,364	267	1,482	1,324	158
小計	2,643	2,331	311	2,520	2,319	201	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	—	—	—	—	—	—
	債券	6	6	△ 0	—	—	—
	国債	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—
	社債	6	6	△ 0	—	—	—
	その他	90	93	△ 2	41	45	△ 4
小計	97	100	△ 2	41	45	△ 4	
合計	2,740	2,432	308	2,561	2,364	196	

### (3)時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成27年3月末	平成27年9月末
子会社株式	10	10
非上場株式	9	9
組合出資金	—	—
合計	19	19

(注) 1. 貸借対照表計上額は、上半期末前一週間(5営業日)の市場価格等の平均に基づいて算定された額により計上したものです。  
2. 上記の「その他」は、外国証券等です。  
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

# 地域の発展・充実、お客様へのサービス向上に向けた取組み

## 地域経済の発展に向けた取組み

### ■地域経営支援チームの経営支援活動

お客様の創業・新規事業、補助金申請、新商品開発、販路拡大、経営改善等の各種経営相談については、専門知識を有した職員を中心とする地域経営支援チームが、営業店とともにお客様の課題解決に取り組んでおります。さらに、必要に応じて外部機関や外部専門家の力を取り込むことで、より効果の高いコンサルティングに努めております。



今年度上期における地域経営支援チームの支援実績は、創業相談3先、各種補助金相談・申請9先、販路拡大9先、商品開発2先、経営相談7先となっております。

今後も当金庫は、地域の運命共同体として、お客様の経営課題の解決に向けてともに考え、積極的な提案に取り組んでまいりますので、お近くの営業店または地域経営支援チームへご相談ください。

### ■1市3町の「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定等会議へ参加

5月より、伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町における「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定会議に、当金庫から委員およびオブザーバーを派遣しております。

当金庫は、地域金融機関として広域連携の視点を重視しながら、①行政による公衆無線LANの整備を通じた観光客の誘引および回遊の促進、②空き地・空き家の有効活用に向けた空き家バンクの開設、③創業の促進に向けた支援の充実等について提言しております。

### ■事業再生支援チームの新設

10月1日、お客様の事業再生を図ることを目的として、審査グループ内に事業再生支援チームを新設しました。当金庫では、お客様の経営再建が地域の活性化につながるのと考えの下、適切な経営指導、親身な経営支援等コンサルティング機能を発揮することにより、お客様の実態に即した金融の円滑化を図り、適切な事業再生支援活動を行ってまいります。

### ■(株)むらづみ経営との業務提携契約締結

10月9日、当金庫は、お客様支援の充実に向けて、(株)むらづみ経営と業務提携契約を締結いたしました。

グループ内に税理士法人、社会保険労務士法人、行政書士法人等を抱える同社との業務提携により、より幅広いお客様支援を目指すとともに、当金庫職員の専門知識向上を目指してまいります。

## 地域社会の充実に向けた取組み

### ■「信用金庫の日」に合わせた各種ボランティア活動の実施

6月15日の「信用金庫の日」を迎えるにあたり、6月13日に、壮瞥町「ぐるっと彫刻公園」の清掃、伊達市内の花壇の植栽ボランティアを実施し、延べ75名の役職員が参加いたしました。



また、同月15日には、お客様からご協力いただきました使用済切手約2万枚を伊達市福祉協議会へ、リングブル約12Kgを伊達身体障がい者福祉協会へ寄贈いたしました。

### ■地元のお祭り、イベントへの参加

当金庫は地域貢献活動の一環として、地元のお祭りや各種イベントに参加しており、今年度上期は以下の行事をはじめとする各種イベントに参加しております。

## 地域のお客様へのサービス向上に向けた取組み

### ■住宅ローンにおける「就業不能保障保険」の取扱い開始

4月1日、住宅ローンをご利用のお客様の利便性を向上させるため、団体信用生命保険の取扱いに一定の就業不能状態を保険金支払いの対象とする「就業不能保障保険」を追加しております。

### ■カードローン「きゃっするII」のリニューアル

4月1日、より幅広いご要望にお応えするために、カードローン「きゃっするII」のお借入限度額を500万円から最高900万円に、お借入利率を5.80%から最低2.95%にリニューアルしております。

### ■年金受給者専用カードローン「シルバーきゃっする」の発売

4月1日、年金を受給されているお客様の充実したセカンドライフにお役立ていただくために、年金受給者専用のカードローン「シルバーきゃっする」を発売しております。

### ■通帳デザインの刷新

4月1日、公募による「西胆振にかかる風景および行事等をイメージした表紙デザインの通帳に、変更しました。

### ■女性職員の活用

4月1日、女性らしい細やかなサービスで、身近な存在として地域の皆様の期待に応えるべく、伊達市内3出張所において職員全員を女性職員といたしました。

併せて女性職員の制服も新調し、明るい笑顔でお客様をお待ちしております。

### ■「フコクしんらい医療保険」の発売

6月1日、「フコクしんらい医療保険」を発売しております。入院や手術の費用を一生涯保障する保険です。

### ■個人ローンでの「空き家解体費用」の取扱い開始

9月1日、年々増加する空き家対策として、個人ローンでの「空き家解体費用」の取扱いを開始しております。

### ■消費者ローンキャンペーンの実施

10月15日より平成28年3月31日までの期間、「カーライフプラン」と「教育プラン」を対象に、特別金利のキャンペーンを実施しております。

●7月18日、「サマーフェスタ2015 in 洞爺湖」に合わせて実施された「目指せ一周+ギネス！ぐるっと洞爺湖マイムマイム」に、役職員やその家族も含め75名が参加いたしました。

●8月1～2日、「第41回伊達武者まつり」には、甲冑を着て伊達市内を練り歩く武者行列に参加する等、2日間で延べ90名の役職員が参加いたしました。

●9月12～13日、洞爺湖周辺の様々なコースを2日間かけて自然を楽しみながら歩く「第28回北海道ツーデーマーチ」に、役職員26名が参加いたしました。



ぐるっと洞爺湖マイムマイム



伊達武者まつり

## 平成27年度だてしんトピックス

- 4月**
- 住宅ローンにおける「就業不能保障保険」の取扱い開始
  - カードローン「きゃっするII」のリニューアル  
(お借入限度額を最高900万円・お借入利率を最低2.95%へ)
  - 年金受給者専用カードローン「シルバーきゃっする」の発売
  - フリーローン「きゃっするフリー」の発売
  - 女性職員制服の刷新
  - 伊達市内3出張所における女性店舗化の実施
  - 公募による通帳表紙デザインの刷新  
(総合口座通帳、法人用普通預金通帳)



通帳表紙



新制服

- 窓口業務取扱時間の変更(9時～15時)
- 内部職員による渉外活動の積極化

- 5月**
- 伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町の各「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定への参画
  - 「第41回洞爺湖マラソン」ボランティアへの役職員参加

- 6月**
- 「フコクしんらい医療保険」の発売
  - 「信用金庫の日」に合わせたボランティア活動実施  
(伊達市館山町の植栽、壮瞥町「ぐるっと彫刻公園」の清掃)
  - 第66回通常総代会開催

- 7月**
- 「目指せ一周+ギネス!ぐるっと洞爺湖マイムマイム」への役職員参加
  - 「ピッセマルシェ伊達フェア」への役職員派遣
  - 「第7回伊達おとこむちゃ祭り」への職員派遣

- 8月**
- 投資信託窓口販売の新規取扱い中止
  - 「第41回伊達武者まつり」への役職員参加および同まつりTシャツ着用

- 9月**
- 個人ローンでの「空き家解体費用」の取扱い開始
  - 「第28回北海道ツーデーマーチ」への役職員参加
  - 「2015だて食のフェスティバル」への後援および職員派遣
  - 本店駐車場での献血の実施

- 10月**
- 「事業再生支援チーム」の新設
  - (株)むらさみ経営との業務提携契約の締結
  - 「いぶり絶品マーケティング勉強会」への後援
  - 室蘭工業大学大学院講座「財務・金融・ベンチャー支援論」への講師派遣
  - 「平成27年度<旅>友の会」催行  
～和倉温泉・白川郷合掌造り集落・飛騨高山をめぐる旅～



<旅>友の会



- 10月～**
- 消費者ローン金利引下げキャンペーンの実施

※詳しくは4頁をご覧ください。